►トピック 自然と環境

第16課 地震が来ても、あわてて動かないでください

地震や火事などが起こったときのために、何か準備していることがありますか？

¿Tienes algo preparado por si ocurre alguna catástrofe, como un terremoto o incendio?

1. 緊急地震速報です

can-do 68 災害を知らせるニュースやアナウンスを聞いて、何があったか、何をすればいいかを理解することができる。

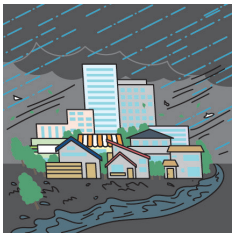
Puedo escuchar noticias y anuncios sobre una catástrofe y comprender lo que ha ocurrido y lo que hay que hacer.

1 ことばの準備

Preparación de vocabulario

【災害】

a. 台風



・(台風)が来る

b. 地震

・(地震)が起こる
・揺れる

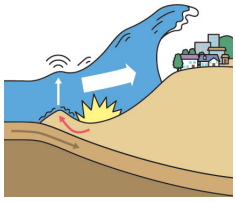
c. 火事／火災

・(火事)になる
・火が出る

d. 大雪

・(雪)が積もる

e. 津波



・(津波)が来る

(1) 絵を見ながら聞きましょう。 16-01

Escucha las palabras mientras observas las imágenes.

(2) 聞いて言いましょう。 16-01

Escucha y repite las palabras.

©The Japan Foundation

2 ニュースやアナウンスを聞きましょう。

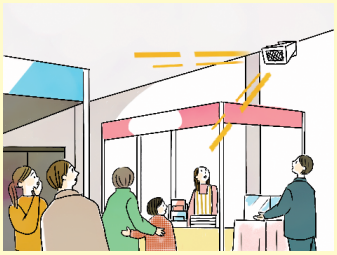
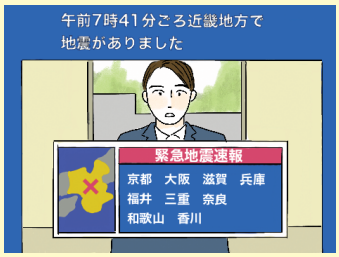
Escucha las noticias y anuncios.

► テレビやイベント会場のアナウンスで、災害を知らせる放送を聞いています。

Estás escuchando varios avisos de emergencia por televisión o en un lugar público.

(1) 何について知らせていますか。メモしましょう。

¿De qué trata cada aviso? Escribe las respuestas.

	①テレビのニュース 16-02	②会場のアナウンス 16-03	③テレビの緊急速報 16-04
			
何について？			

(2) もういちど聞きましょう。どうするように言っていますか。a-h から選びましょう。

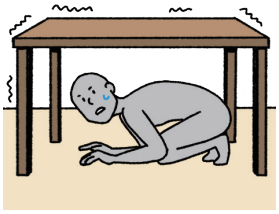
Escucha los avisos de nuevo. ¿Cómo hay que actuar? Elige entre a-h.

a. 避難する

b. 倒れやすいものから離れる

c. 川に近づかない

d. 机の下に隠れる



e. あわてないで落ち着いて行動する

f. 外に出ない

g. 最新情報を確認する

h. 海岸から離れる

	①テレビのニュース 16-02	②会場のアナウンス 16-03	③テレビの緊急速報 16-04
どうする？	, ,	,	, ,

©The Japan Foundation

（3） ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-02 ～ 16-04
Comprueba estas palabras y escucha los avisos de nuevo.

① 上陸する tocar tierra | 非常に extremadamente | 激しい intenso/a | 様子 la situación | 絶対に a toda costa | やめる abstenerse | 安全（な） seguro/a
② 係員 responsable | 指示に従う seguir las indicaciones | （お）年寄り persona mayor | 優先 prioridad
③ 揺れ temblor | 警戒する tener precaución | 身を守る protegerse | 家具 mueble | 震源 foco sísmico | 海底 fondo del mar | ～のおそれがある existir el riesgo de ～

2. 避難訓練を始めます

can-do ✦ 69
防災訓練の説明や指示を聞いて、やり方や注意点などを理解することができる。
Puedo escuchar las explicaciones e instrucciones de un simulacro de catástrofe y comprender lo que hay que hacer y lo que hay que tener en cuenta.

1 ことばの準備
Preparación de vocabulario

【防災訓練・避難訓練】

a. 防災頭巾／ヘルメットをかぶる

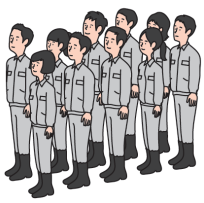
b. ドアを開ける

c. 火を消す／消火する

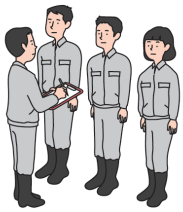
d. 消防署／119番に連絡する

e. 集まる

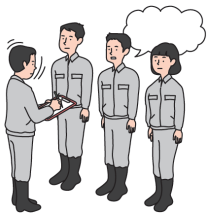
f. 並ぶ



g. 点呼する



h. 報告する

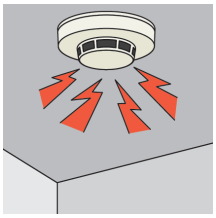


i. ほかの人に知らせる

j. 姿勢を低くする／しゃがむ

k. ハンカチを口に当てる

l. 火災報知器が鳴る



©The Japan Foundation

(1) 絵を見ながら聞きましょう。 16-05
Escucha las palabras mientras observas las imágenes.

(2) 聞いて言いましょう。 16-05
Escucha y repite las palabras.

(3) 聞いて、a-l から選びましょう。 16-06
Escucha y elige entre a-l.

2 防災訓練の指示や説明を聞きましょう。
Escucha las indicaciones y explicaciones de un simulacro de catástrofe.

► 防災訓練に参加しています。
Estás participando en un simulacro de catástrofe.

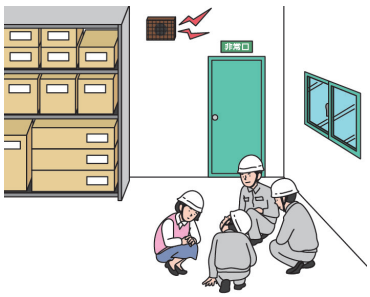
防災訓練 1

► 職場で、地震の避難訓練をしています。
Estás participando en un simulacro de evacuación ante terremotos organizado en tu lugar de trabajo.

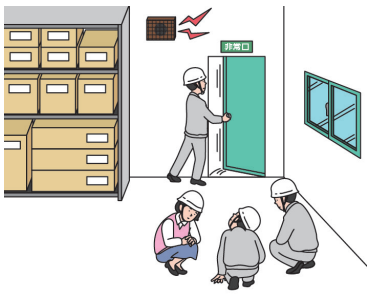
(1) 4つの場面で、どのように行動すればいいですか。
指示の内容と合っているほうに、○をつけましょう。 16-07
Rodea cuál es la manera correcta de actuar en las siguientes cuatro situaciones.

1. 避難訓練を開始する
Iniciar el simulacro de evacuación.

a.



b.



2. 避難を開始する
Iniciar la evacuación.

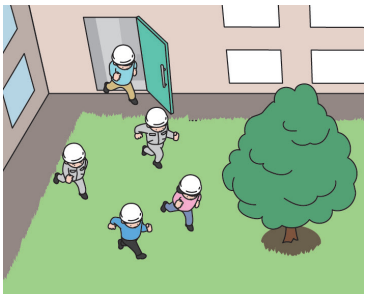
a.

b.

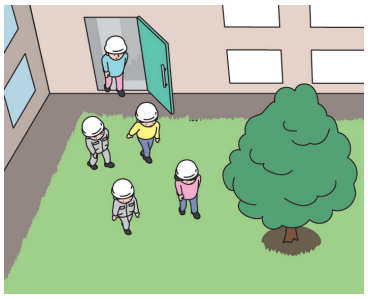
©The Japan Foundation

3．外に集合する
Reunirse fuera del edificio.

a.

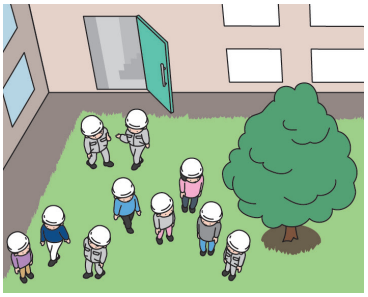


b.

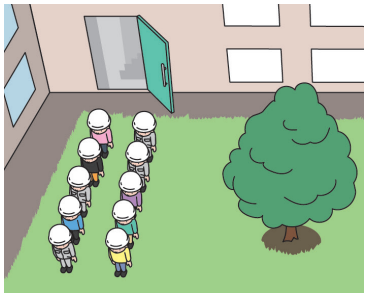


4．人数を確認する
Contar el número de personas.

a.



b.



（2） ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-07
Comprueba estas palabras y escucha las indicaciones de nuevo.

震度 intensidad sísmica ｜ （揺れが）おさまる parar (de temblar) ｜ 開始する comenzar ｜ 中庭 patio

チームごと cada equipo（～ごと cada ～）

©The Japan Foundation

防災訓練 2

► 職場で、火事の避難訓練をしています。
Varias personas participan en un simulacro de evacuación ante incendios organizado en su lugar de trabajo.

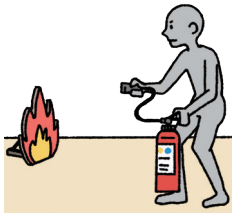
（1） 青木さん、橋本さん、エルデネさん、ソーさんは、それぞれ何をしますか。
a-e から選びましょう。 16-08
¿Qué harán Aoki-san, Hashimoto-san, Erdene-san y Soe-san? Elige entre a-e de qué se encarga cada uno de ellos.

a.

b.

c.

d.

e.


①青木さん	②橋本さん	③エルデネさん	④ソーさん
,	,	,	

（2） ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-08
Comprueba estas palabras y escucha las indicaciones de nuevo.

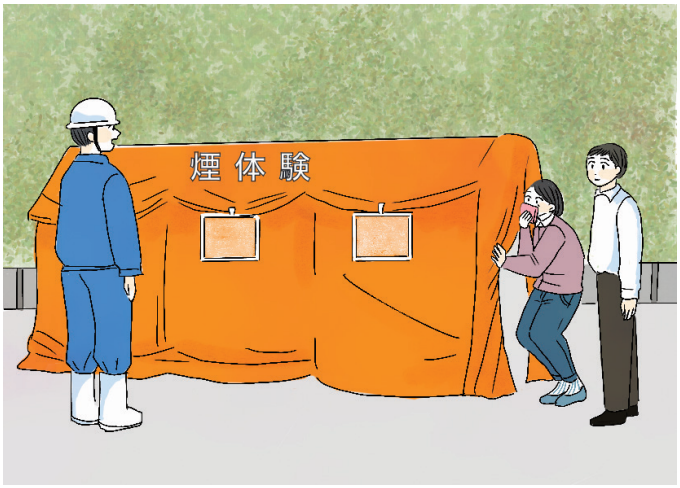
初期消火 extinción inicial del fuego | 消火器 extintor | 逃げ遅れる no conseguir huir
一つ一つ uno a uno | 見て回る ir mirando

©The Japan Foundation

防災訓練 3

► 地域の防災訓練で、煙体験のやり方について、説明を聞いています。

Estás en un simulacro de catástrofe organizado en tu zona. Estás escuchando las indicaciones sobre cómo actuar ante la presencia de humo.



(1) 説明の内容と合っているのは、どれですか。○をつけましょう。 16-09

Rodea los casos que se correspondan con las indicaciones recibidas.

a.

b.

c.

d.

(2) ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-09

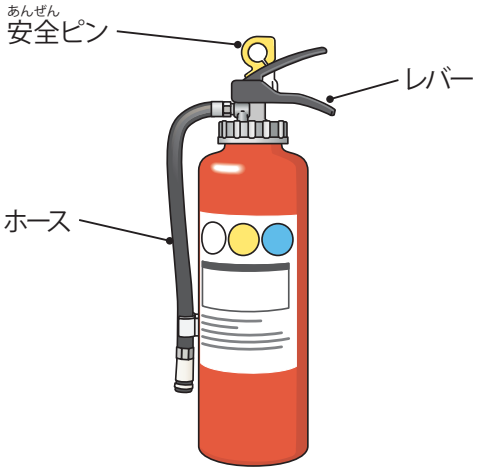
Comprueba estas palabras y escucha las indicaciones de nuevo.

煙体験 simulacro de humo | 充満する llenar | 逃げる escapar | 進む avanzar
注意点 puntos importantes | 煙を吸う inhalar humo | 声をかけ合う hablar con los demás | 床 suelo

©The Japan Foundation

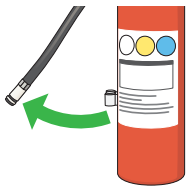
防災訓練 4

► 地域の防災訓練で、消火器の使い方について、説明を聞いています。
Estás en un simulacro de catástrofe organizado en tu zona. Estás escuchando las indicaciones sobre cómo utilizar un extintor.



（1） 消火器は、どうやって使いますか。a-d を順番に並べましょう。 16-10
¿Cómo debe usarse el extintor? Ordena los pasos de a-d.

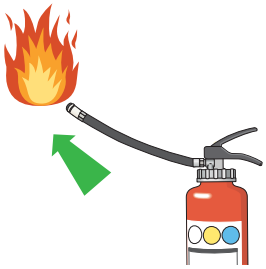
a.



b.

c.

d.



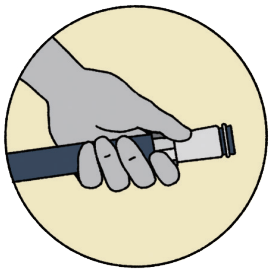
1	→	2	→	3	→	4

©The Japan Foundation

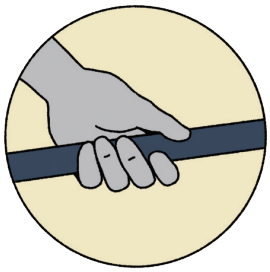
（2） もういちど聞きましょう。説明の内容と合っているほうに、○をつけましょう。 16-10
Escucha las indicaciones de nuevo. Rodea la imagen que se corresponda con las indicaciones.

1．ホースの持ち方
Cómo sujetar la manguera

a.

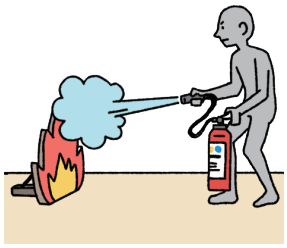


b.



2．火の消し方①
Cómo apagar el fuego ①

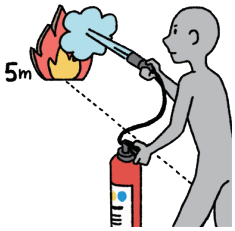
a.



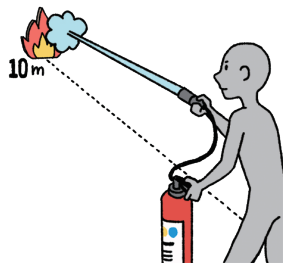
b.

3．火の消し方②
Cómo apagar el fuego ②

a.



b.



（3） ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-10
Comprueba las palabras y escucha las indicaciones de nuevo.

抜く tirar | 先 boquilla | 向ける dirigir | 途中 centro | 握る agarrar | 噴射する rociar
左右 derecha e izquierda | 狙う apuntar | 消える apagarse | ～ m ～ metros | ～秒 ～ segundos

©The Japan Foundation

形に注目

（1）音声を聞いて、＿＿＿＿にことばを書きましょう。 16-11
Escucha la grabación y rellena los huecos.

そこのドアを＿＿＿＿＿＿。
全員、ヘルメットを＿＿＿＿＿＿。
姿勢を＿＿＿＿＿＿。
みんな、走る＿＿＿＿＿＿。
急＿＿＿＿＿＿、こっちに集ま＿＿＿＿＿＿。

タオルやハンカチを口に当てて、できるだけ煙を吸わない＿＿＿＿＿＿してください。

防災訓練で指示をしているとき、どんな形を使っていましたか。 ➡ 文法ノート ❶
¿Qué expresión se ha usado para dar instrucciones durante un simulacro de catástrofe?

「煙を吸わないでください」と「煙を吸わないようにしてください」は、どう違うと思いますか。 ➡ 文法ノート ❷
¿Qué diferencia hay entre 煙を吸わないでください y 煙を吸わないようにしてください?

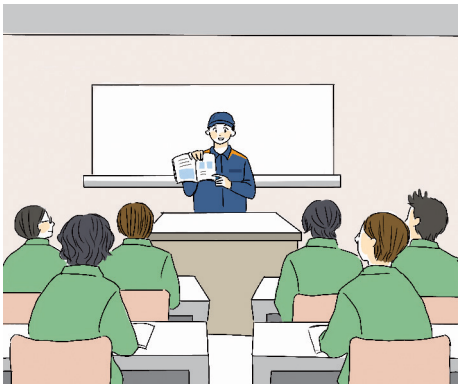
（2）形に注目して、防災訓練 1 防災訓練 3 をもういちど聞きましょう。 16-07 16-09
Fíjate en las expresiones empleadas y escucha de nuevo 防災訓練 1 y 防災訓練 3.

©The Japan Foundation

3. 地震が起こったときは…

Can-do ✦ 70
防災訓練などで、地震が起こったときどうすればいいか、説明を聞いてだいたいの内容を理解することができる。
Puedo escuchar y entender más o menos las explicaciones sobre qué hacer en caso de terremoto durante un simulacro de emergencia, etc.

1 説明を聞きましょう。
Escucha las instrucciones.



► 地震の避難訓練のあとで、地震が起こったときはどうすればいいか、消防署の人の話を聞いています。また、話の内容に関して、参加者が質問しています。
Tras el simulacro de evacuación en caso de terremoto, un responsable de la estación de bomberos da algunas indicaciones sobre qué hacer en caso de terremoto. Los participantes hacen algunas preguntas al respecto.

(1) はじめに、消防署の人の説明を聞きましょう。説明の内容と合っているものには○、違っているものには×を、(　　) に書きましょう。 16-12
Primero, escucha las indicaciones del encargado de la estación de bomberos. Escribe ○ si los siguientes enunciados son correctos y × si no lo son.

1. 震度5の地震は、普通に歩くことができます。

(　　)

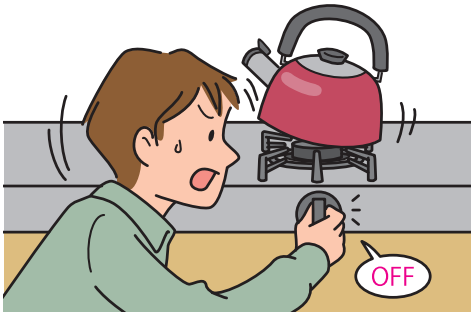
2. 揺れを感じたら、机の下に隠れます。

(　　)

3. 揺れを感じたら、できるだけドアを開けます。

(　　)

4. 地震が起こったら、すぐに火を消しに行きます。



(　　)

©The Japan Foundation

（2） 次に、参加者が質問しているところを聞きましょう。答えの内容と合っているものには○、違っているものには×を、（　　）に書きましょう。 16-13

A continuación, escucha las preguntas que hacen los participantes y las respuestas. Escribe ○ si los siguientes enunciados son correctos y × si no lo son.

1．火が出たら、小さい火は消します。

（　　）

2．大きい火は、あきらめて逃げます。

（　　）

3．外にいるとき大きな地震が来たら、姿勢を低くして、かばんで頭を守ります。

（　　）

4．外にいるとき大きな地震が来たら、できるだけ建物の中に入ります。

（　　）

（3） ことばを確認して、全体を聞きましょう。 16-14

Comprueba las palabras y vuelve a escucharlo todo.

感じる sentir | 落ちる caer | ゆがむ deformarse | 無理をする excederse de sus capacidades | ガスコンロ hornillo de gas | 天井 techo | 届く alcanzar | 危ない peligroso/a | 町中 en la calle | 屋外 fuera | ガラス cristal

～必要がある／ない es necesario ～ / no es necesario ～

©The Japan Foundation

形に注目

（1）音声を聞いて、＿＿＿＿にことばを書きましょう。 16-15
Escucha la grabación y rellena los huecos.

震度5の地震では、歩くのが難しくなりますし、震度6では、
立っていられ＿＿＿＿＿＿＿＿。
ドアが開か＿＿＿＿＿＿と、外に逃げられ＿＿＿＿＿＿からです。

外にいるときに大きな地震が来＿＿＿＿、どうすればいいですか？
大きな地震が来＿＿＿＿、あわてて動かないでください。

変化について言うとき、どんな形を使っていましたか。 ➡ 文法ノート ❸
¿Qué expresión se ha usado para indicar un cambio?

「たら」と「ても」は、どう違うと思いますか。 ➡ 文法ノート ❹
¿Cuál crees que es la diferencia entre たら y ても?

（2）形に注目して、全体をもういちど聞きましょう。 16-14
Fíjate en las expresiones empleadas y vuelve a escucharlo todo.

©The Japan Foundation

4. 避難所はどこですか？

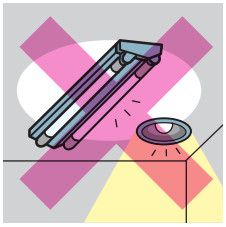
Can-do ✦ 71
災害にあったとき、周りの人に質問して、必要な情報を得ることができる。
Puedo pedir a las personas de mi entorno la información necesaria en caso de catástrofe.

1 ことばの準備
Preparación de vocabulario

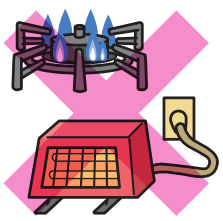
【災害の影響】

a. 断水する／水が止まる

b. 停電する／電気が止まる



c. ガスが止まる



d. 通行止めになる

e. 避難所に行く

f. 給水車が来る

g. 炊き出しがある

(1) 絵を見ながら聞きましょう。 16-16
Escucha las palabras mientras observas las imágenes.

(2) 聞いて言いましょう。 16-16
Escucha y repite las palabras.

(3) 聞いて、a-g から選びましょう。 16-17
Escucha y elige entre a-g.

【災害のときに必要なもの】

a. 水

b. 非常食

c. 懐中電灯

d. ろうそく

e. ラジオ

f. 毛布

g. 寝袋

h. ポリタンク

©The Japan Foundation

(1) 絵を見ながら聞きましょう。 16-18
Escucha las palabras mientras observas las imágenes.

(2) 聞いて言いましょう。 16-18
Escucha y repite las palabras.

(3) 聞いて、a-h から選びましょう。 16-19
Escucha y elige entre a-h.

2 会話を聞きましょう。
Escucha los diálogos.

► 台風の前後に、困っていることや心配していることについて話しています。
Cuatro personas hablan sobre sus problemas y preocupaciones de cara a lo que suceda antes y después de un tifón.

(1) 心配していることは何ですか。a-d から選びましょう。また、どこに行けばいいですか。ア - オから選びましょう。
¿Qué le preocupa a cada una de ellas? Elige entre a-d. ¿Dónde deberían ir? Elige entre ア-オ.

a. スマホの充電　b. 水　c. 避難　d. 食べるもの

ア. 公民館　イ. 小学校　ウ. 総合福祉センター　エ. スーパー　オ. 携帯電話のショップ

	① 16-20	② 16-21	③ 16-22	④ 16-23
心配していること				
どこに行く？				

(2) もういちど聞きましょう。その場所に行くときに気をつけることは、何ですか。(　　)に書きましょう。
Escucha los diálogos otra vez. ¿Qué deberían tener en cuenta cuando vayan a esos lugares? Rellena los huecos.

	① 16-20	② 16-21	③ 16-22	④ 16-23
気をつけること	店が(　　)わからない。	(　　)とか(　　)とか(　　)とかを持って行ったほうがいい。	まだ(　　)は少ない。	(　　)を持って行く。(　　)かもしれない。

©The Japan Foundation

（3） ことばを確認して、もういちど聞きましょう。 16-20 ～ 16-23
Comprueba estas palabras y escucha los diálogos otra vez.

今回 esta vez | レベル nivel | 一人暮らし vivir solo/a | 早め con antelación | 続く continuar
容器 recipiente | 仮設 provisional

形に注目

（1） 音声を聞いて、＿＿＿＿にことばを書きましょう。 16-24
Escucha la grabación y rellena el hueco.

店が開いている＿＿＿＿＿＿＿＿、わからないけど……。

「かどうか」を別のことばで言い換えると、どうなりますか。 → 文法ノート ❺
¿Con qué otras palabras se podría expresar かどうか?

（2） 形に注目して、①の会話をもういちど聞きましょう。 16-20
Fíjate en la expresión empleada y escucha el diálogo ① de nuevo.

©The Japan Foundation

3 災害のときに必要になる情報について、質問しましょう。

Haz preguntas acerca de la información necesaria durante una catástrofe.

① 避難所の場所を聞く

避難所はどこですか?

酒井小学校ですよ。

何か持って行ったほうがいいですか?

食べ物とか飲み物とか、持って行ったほうがいいと思いますよ。

② 困っていることを相談する

水があと少ししかないです。どうしたらいいですか?

スマホの充電ができなくて、困ってます。充電できるところ、知りませんか?

明日の8時に、公民館の前に給水車が来るって聞きました。

携帯電話のショップで充電できると思います。

(1) 会話を聞きましょう。 16-25 ／ 16-26 16-27

Escucha los diálogos.

(2) シャドーイングしましょう。 16-25 ／ 16-26 16-27

Repite los diálogos haciendo *shadowing*.

(3) 2 の会話の内容で、練習しましょう。

Practica usando la información de los diálogos de 2.

(4) ① 避難所の場所を聞く練習をしましょう。

Practica preguntando dónde está el refugio.

② 災害が起こったとき、どんなことに困ったり、心配になったりすると思いますか。
質問を考えて、練習しましょう。

¿Qué problemas y preocupaciones tendrías antes y después de una catástrofe? Piensa algunas preguntas y practica.

©The Japan Foundation

5. 防災パンフレット

Can-do ✦ 72
外国人向けのやさしい日本語で書かれた防災パンフレットを読んで、内容を理解することができる。
Puedo leer y comprender un folleto de prevención de catástrofes redactado en japonés sencillo para extranjeros.

1 防災パンフレットを読みましょう。

Lee un folleto sobre prevención ante catástrofes.

► やさしい日本語で書かれた防災パンフレットを読んでいます。

Estás leyendo un folleto escrito en japonés sencillo que trata sobre la prevención ante catástrofes.

（1）何について書いてあると思いますか。

¿De qué habla el folleto?

非常持ち出し品を今から準備しておきましょう

大きな地震があると、電気、ガス、水が使えなくなることがあります。また、お店も閉まります。自分の力で３日間ぐらい生活できるように、食べ物や生活に必要なものを準備しておきましょう。

★
- 非常持ち出し品は、すぐに持ち出せるところに置きましょう。
- 賞味期限や使用期限が切れていないか、電池が切れていないか、半年に１回ぐらいチェックしましょう。

準備するもの

貴重品 ①

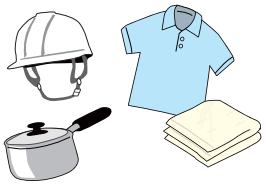
薬 ②

非常食 ③

電灯・携帯ラジオ ④

その他

服、下着、タオル、毛布、生理用品、ウェットティッシュ、ライター、使い捨てカイロ、軍手、ヘルメット、粉ミルク、おむつ、卓上コンロ、ガスボンベ、なべ、アウトドア用品…など



©The Japan Foundation

(2) ★の部分を読んで、次の質問に答えましょう。
Lee la parte señalada con ★ y responde a las siguientes preguntas.

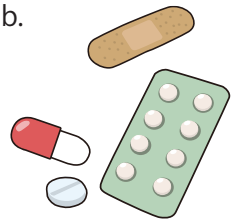
1. 非常持ち出し品は、どこに置きますか。
¿Dónde se guarda el equipo de supervivencia?

2. 非常持ち出し品について、どんなことをチェックしますか。
¿Qué comprobaciones hay que hacer sobre el estado del equipo de supervivencia?

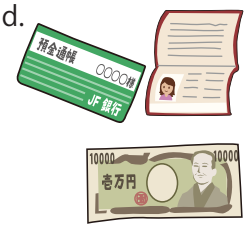
3. 食べ物は、どのぐらいの量を準備しますか。
¿De cuánta comida debe disponerse?

(3) 「準備するもの」のところを見ましょう。①-④には、何が入りますか。
イラストを a-d から選びましょう。また、準備するもののリストをア-エから選びましょう。
Fíjate en los bloques ①-④ que aparecen debajo de 準備するもの. Para cada bloque, elige una ilustración adecuada entre a-d, así como los elementos apropiados entre ア-エ.

a.

b.


c.

d.


ア. いつも飲んでいる薬、かぜ薬、ばんそうこう、消毒液…… など
イ. 懐中電灯、新しい電池、モバイルバッテリー…… など
ウ. 現金、預金通帳、パスポート、健康保険証、在留カード、外国人登録証…… など
エ. 水、缶づめ、インスタント食品、お菓子…… など

	①	②	③	④
イラスト (a-d)				
リスト (ア-エ)				

(4) 「その他」の部分を読みましょう。
ここに書いてあるもののほかに、準備しておいたらいいと思うものがありますか。
Lee la parte situada debajo de その他. Además de los elementos que aparecen señalados, ¿qué otras cosas deberían prepararse?

大切なことば
持ち出す sacar | 力 medios | (賞味期限が)切れる vencer (la fecha de caducidad)

©The Japan Foundation

聴解スクリプト

1. 緊急地震速報です

① 16-02

台風15号は、明日9日土曜日、夕方から夜にかけて関東地方に上陸する見込みです。関東や伊豆諸島、東海では、風が強くなり、局地的に非常に激しい雨が降るでしょう。川の水が増えて、非常に危険です。川の近くには近づかないでください。様子を見るために外に出るのは、絶対にやめましょう。安全な建物の中で、最新の情報を確認するようにしてください。

---

② 16-03

お客様にお知らせいたします。ただいま、2階で火災が発生しました。係員の指示に従い、西側の出口から駐車場に避難してください。小さなお子さまやお年寄りを優先に避難してください。あわてないで、落ち着いて行動してください。

くり返します。ただいま、……

---

③ 16-04

緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。

緊急地震速報が出ました。京都、大阪、滋賀、兵庫、福井、三重、奈良、和歌山、香川に緊急地震速報が出ました。けがをしないように、身を守ってください。倒れやすい家具などからは離れてください。テーブルや机の下に隠れてください。

……えー、先ほど7時41分ごろ、近畿地方で強い揺れを感じました。震源が海底ですと、津波のおそれがあります。海岸から離れてください。

©The Japan Foundation

2. 避難訓練を始めます

防災訓練 1

16-07

（避難訓練を開始する）

放送：訓練、訓練。震度 5 の地震が発生しました。

A：はい、そこのドアを開けて！　全員、ヘルメットをかぶって！
姿勢を低くして！

数人：はい。

（避難を開始する）

放送：揺れがおさまりました。避難を開始してください。

A：中庭に避難します！　走らないで！

全員：はい。

A：エレベーターは使わないで。階段で下りて。

B：みんな！　走るな！

（外に集合する）

C：急げ！　こっちに集まれ！

A：走って走って！

（人数を確認する）

C：チームごとに並んで点呼！　全員いるか、報告してください！

A：はい、みんな並んで！

©The Japan Foundation

防災訓練 2

16-08

上司：これから、火事の避難訓練を始めます。
まず、やり方を説明します。火災報知器が鳴ったら、青木さん、橋本さん、エルデネさんは、3 人で火の場所を確認してください。

青木・橋本・エルデネ：はい。

上司：火が確認できたら、青木さんは、119 番に連絡してください。
橋本さんは、みんなに知らせてください。

青木・橋本：はい。

上司：エルデネさんは、初期消火をお願いします。消火器で火を消してください。

エルデネ：はい、わかりました。

上司：ソーさんは、避難するとき、逃げ遅れた人がいないか、部屋を一つ一つ見て回ってください。

ソー：はい、わかりました。

防災訓練 3

16-09

では、煙体験を行います。えー、このテントの中は、煙が充満しています。この中に入って、火事のとき、煙の中をどうやって逃げるか、体験していただきます。こちらの入口から入って、中を進んで、向こうの出口まで歩きますが、そのときに注意点があります。まず、煙は上に行くので、しゃがんで、できるだけ姿勢を低くして進んでください。あと、タオルやハンカチを口に当てて、できるだけ煙を吸わないようにしてください。それから、中は煙で前が見えません。ほかの人と声をかけ合って、壁や床に手を当てながら進んでください。

©The Japan Foundation

防災訓練 4

16-10

えっと、消火器ですが、この黄色いのが安全ピンといいます。それで、これがレバー、これがホースですね。使い方ですが、まず安全ピンを抜きます。それから、ホースをはずして、ホースの先を持って火に向けます。ホースは途中ではなくて、必ず先を持ってください。それからレバーを強く握って、噴射します。こうやって、左右に動かしてください。このとき大切なのは、火の下のほうを狙うことです。上のほうに向けても、火は消えません。火から 4 m から 6 m ぐらい離れたところから噴射してください。噴射は 20 秒ぐらいで終わります。遠すぎると、火を消せないので注意してください。

3. 地震が起こったときは…

16-12

消防署の人：地震が起こったときは、落ち着いて行動することがとても大切です。震度 5 の地震では、歩くのが難しくなりますし、震度 6 では、立っていられなくなります。大きな地震が来ても、あわてて動かないでください。揺れを感じたら、机などの下に隠れて、上から落ちてくるものや倒れてくるものから身を守りましょう。

また、できれば、部屋のドアを開けるようにしてください。地震で建物がゆがんで、ドアが開かなくなると、外に逃げられなくなるからです。でも、揺れが強いときは、無理をしないでください。身を守ることがいちばん大切です。

あと、例えば、ガスコンロやストーブなど、火を使っているときに地震が起こることもあります。火から離れたところにいるときは、あわてて火を消しに行く必要はありません。火を消すのは、揺れがおさまってからにしてください。

16-13

消防署の人：何か質問はありますか？

参加者 1：はい。あの、火が出たら、どうすればいいですか？

消防署の人：はい、えーと、火が小さかったら、消火器で消してください。

でも、火が天井に届くぐらい大きかったら、もう危ないです。

消すのはあきらめて、逃げてください。

©The Japan Foundation

参加者 1：わかりました。ありがとうございます。

消防署の人：ほかにありますか？

参加者 2：はい。えーと、外にいるときに大きな地震が来たら、どうすればいいですか？

消防署の人：はい、町中など、屋外にいる場合は、姿勢を低くして、かばんなどで頭を守ってください。ガラスや看板が落ちてきたり、壁が倒れてきたりすることがありますから、できるだけ、建物から離れてください。

参加者 2：わかりました。ありがとうございます。

16-14　　16-12 ＋ 16-13

4. 避難所はどこですか？

① 16-20

A：はい。

B：あ、もしもし、ディパクさん？　台風すごかったね。だいじょうぶ？

A：はい、なんとか……。でも、停電してます。

B：え、大変だね。懐中電灯とか、ある？

A：あります。でも、スマホの充電ができなくて、心配です。

B：あー、そうだよねえ……。

A：原田さん、充電できるところ、知りませんか？

B：そうだなあ、携帯電話のショップで充電できると思うよ。

A：携帯のお店？

B：うん。でも、店が開いているかどうか、わからないけど……。

A：じゃあ、明日の朝、行ってみます。ありがとうございます。

---

② 16-21

A：あ、こんにちは。

B：ああ、こんにちは。

A：出かけるんですか？　台風ですけど……。

B：ええ、避難するんです。今回の台風、すごく大きくて、心配だから……。

©The Japan Foundation

A：そうですか。私も避難したほうがいいですか？

B：まだ避難しなくちゃいけないレベルじゃないけど、私は年寄りの一人暮らしだから……。

A：そうですか……。あの、避難所はどこですか？

B：酒井小学校ですよ。

A：小学校？　あの、バラ公園の隣の小学校ですか？

B：そうそう。

A：あの、避難するときは、何か持って行ったほうがいいですか？

B：食べ物とか飲み物とか、持って行ったほうがいいと思いますよ。あと、できれば毛布とか。

A：そうですか。ありがとうございます。

---

③ 16-22

A：はい。

B：こんにちは。

A：あ、社長。

B：台風、だいじょうぶだった？　大変だったよね。

A：はい、ちょっとびっくりしました。でも、電気も水道も戻ったので、今はだいじょうぶです。ただ……。

B：どうしたの？

A：お店が開いていないので、食べるものがなくて、困ってます。

B：そんなことだろうと思った。これ、会社にあった非常食。はい。

A：ありがとうございます！

B：あ、そうそう、泉町のスーパー、今日からやってるそうだよ。

A：え、そうなんですか？

B：まだ売ってるものは少ないと思うから、早めに行ったほうがいいよ。

A：わかりました。ありがとうございます。

©The Japan Foundation

④ 16-23

A：あ、キンさん、こんばんは。

B：あ、こんばんは。まだ、水、出ませんか？

A：断水、まだ続きそうだよ。だいじょうぶ？　水、まだある？

B：あと少ししかないです。どうしたらいいですか？

A：明日の８時に、公民館の前に給水車が来るって。行ってみて。

B：え、何が来るんですか？

A：給水車。水がもらえるんだよ。

B：そうなんですか。助かります。

A：水を入れる容器、忘れないでね。ポリタンクとか、なければペットボトルとか。

B：はい。

A：あとね、お風呂も入りたいよね。

B：入れるんですか？

A：うん。市役所の近くに総合福祉センターっていうところがあるんだけど、
そこに仮設のお風呂ができたんだって。

B：え、そうですか！

A：だれでも、ただで入れるよ。でも、きっとみんな行くから、並ぶかも
しれないね。

B：そうですねえ……。

©The Japan Foundation

漢字のことば

1 読んで、意味を確認しましょう。
Lee los siguientes *kanji* y comprueba su significado.

地震（じしん）	地震	地震
台風（たいふう）	台風	台風
外（そと）	外	外
声（こえ）	声	声
危ない（あぶ）	危ない	危ない
大切（たいせつ）（な）	大切	大切
心配（しんぱい）（な）	心配	心配
集まる（あつ）	集まる	集まる
進む（すす）	進む	進む

2 ＿＿＿の漢字に注意して読みましょう。
Lee las siguientes frases fijándote en los *kanji* de las palabras subrayadas.

① 明日は大雪だそうです。心配です。

② 地震が起こったときは、あわてないことが大切です。

③ 台風のときは、危ないので外に出ないでください。

④ 避難訓練では、全員、中庭に集まります。

⑤ 煙体験では、ほかの人と声をかけ合って、姿勢を低くして進んでください。

3 上の＿＿＿のことばを、キーボードやスマートフォンで入力しましょう。
Usando un teclado o teléfono móvil, escribe las palabras subrayadas anteriores.

©The Japan Foundation

文法ノート

❶

V（forma imperativa 命令形）
V- るな（forma imperativa de prohibición 禁止の命令形）

急げ。こっちに集まれ。
¡Daos prisa! ¡Reuníos aquí!

走るな。
¡No corráis!

- Estas expresiones sirven para darle a alguien una instrucción u orden de manera firme.
- Para ordenarle a alguien que haga algo, se usa la forma imperativa del verbo, por ejemplo, 急げ ('¡Date prisa!').
- Para ordenarle a alguien que no haga algo, se usa la forma imperativa de prohibición, la cual se forma añadiendo な a la forma diccionario, por ejemplo, 走るな ('¡No corras!').
- Para dar una instrucción se pueden usar la forma テ y la estructura V-ないで, por ejemplo, 走って ('¡Corre!') y 来ないで ('¡No vengas!'). Sin embargo, la forma imperativa sirve para formular una orden con mayor firmeza.
- También se usan las formas imperativas para dar ánimos en un contexto deportivo, por ejemplo, 行け! ('¡Vamos!'), がんばれ! ('¡A por ello!') o 負けるな! ('¡No te rindas!').

- 相手に強く指示をしたり、命令をするときの言い方です。
- そうするように指示・命令するときは、「急げ。」のように動詞の命令形を使います。
- そうしないように指示・命令するときは、「走るな。」のように、動詞の辞書形に「な」をつけて禁止の命令形にします。
- 「走って。」「来ないで。」のように、動詞のテ形や「V- ないで」も指示を表すことができますが、命令形を使うと、より強い言い方になります。
- スポーツで応援するときも、「行け！」「がんばれ！」「負けるな！」のように、命令形を使って言います。

［例］► 早く来い！
¡Ven rápido!

► 危ないから、そっちに行くな！
¡No vayas ahí! ¡Es peligroso!

©The Japan Foundation

◆ Cómo crear la forma imperativa 命令形の作り方

	reglas de conjugación 活用規則		ejemplo ［例］
	forma diccionario 辞書形	forma imperativa 命令形	
1 グループ	-u	-e	行く (ik + u) → 行け (ik + e) 待つ (mats + u) → 待て (mat + e)
2 グループ	- る	- ろ	逃げる → 逃げろ
3 グループ	conjugación irregular 不規則活用		する → しろ 来る → 来い

◆ Cómo crear la forma imperativa de prohibición 禁止の命令形の作り方

	forma imperativa de prohibición 禁止の命令形	ejemplo ［例］
1 グループ	forma diccionario 辞書形 ＋な	行く (ik + u) → 行くな (ik + u + な)
2 グループ		見る → 見るな
3 グループ		する → するな 来る → 来るな

❷ V- ないようにしてください

できるだけ煙を吸わないようにしてください。
Intenten respirar la menor cantidad de humo posible.

- En la Lección 16 de『初級1』se estudió la estructura V-ないようにしています, con la que el hablante señala que está haciendo esfuerzos para evitar hacer algo, por ejemplo, 食べすぎないようにしています ('Trato de no comer demasiado').
- La estructura V-ないようにしてください sirve para indicarle a otra persona que trate de evitar alguna cosa. En este ejemplo, se utiliza para indicar las precauciones que hay que tomar cuando se realiza un simulacro de evacuación.

- 『初級 1』第 16 課では、「食べすぎないようにしています。」のように、「V- ないようにしています」の形で、努力して、なるべくそうしないようにしていることを述べる表現を勉強しました。
- 「V- ないようにしてください」は、なるべくそうしないように依頼するときの言い方です。ここでは、防災訓練のときに注意事項を伝えるときに、使っています。

［例］► 逃げるときに、あわてて転ばないようにしてください。
En el momento de la evacuación, tengan cuidado de no correr y caerse.

► 夜は、1人で外に出ないようにしてください。
De noche trata de no salir solo.

©The Japan Foundation

❸ V-（られ）なくなります

ドアが開かなくなると、外に逃げられなくなります。
Una vez que las puertas dejan de poder abrirse, ya no es posible escapar al exterior.

- En la Lección 3 de『初級1』se explicaba cómo describir un cambio añadiendo la expresión なります a sustantivos y adjetivos, por ejemplo, 休みになります ('La escuela se cerrará') o 暖かくなります ('Empezará a hacer calor'). En esta lección se estudia cómo expresar cambios combinando esta estructura con verbos en forma negativa.
- Cuando se usa con la forma negativa de un verbo intransitivo, esta estructura indica que el estado cambia a otro diferente, 機械が動かない (動く) ('la máquina no funciona') o 荷物が入らない (入る) ('el equipaje no cabe').
- Cuando se usa con la forma negativa de un verbo en forma potencial, esta estructura indica un estado en el que ha dejado de poder hacerse algo, por ejemplo, 逃げられなくなります ('Ya no se puede escapar al exterior').
- Primero se toma la expresión negativa ない, se cambia por なく y finalmente se añade なります.

- 『初級 1』第 3 課では、「休みになります」「暖かくなります」のように、名詞や形容詞に「なります」がついて、変化を表すことを勉強しました。ここでは、動詞の否定形について、変化を表す例を取り上げます。
- 「かぎが閉まらない（閉まる）」「機械が動かない（動く）」「荷物が入らない（入る）」など、自動詞の否定形につくと、そうではない状態に変化することを表します。
- 動詞の可能形の否定につくと、「逃げられなくなります」のように、あることができない状態になることを表します。
- 否定を表す「ない」を「なく」の形にしてから、「なります」をつけます。

［例］► 地震の影響で、スーパーに水や食べ物が届かなくなりました。
A causa del terremoto, ya no se reparte ni agua ni alimentos a los supermercados.

► 台風が近づいて、雨風が強くなると、電車が利用できなくなります。
Cuando se acerca un tifón y se intensifican las lluvias y el viento, dejan de poder usarse los trenes.

❹ S ても、～

大きな地震が来ても、あわてて動かないでください。
Aunque ocurra un gran terremoto, no actuéis de manera precipitada.

- La expresión ～ても sirve para expresar los conceptos "aunque ocurra cierto evento" o "aunque se dé cierta situación".
- Esta estructura se construye añadiendo も detrás de la forma テ del verbo. El adjetivo イ adopta la forma ～くても, por ejemplo, 寒くても ('aunque haga frío'). El sustantivo y el adjetivo ナ se unen a ～でも, por ejemplo, 台風でも ('aun en caso de tifón') o 大変でも ('aunque sea difícil').
- También es posible acompañar esta estructura con expresiones como もし ('si') o 万が一 ('si por casualidad').

- 「S ても」は、もし、あるできごとが起きたとしても／ある状態になっても、という意味で使います（逆接の仮定条件）。
- 動詞の場合は、テ形に「も」をつけます。イ形容詞は、「寒くても」のように「～くても」となります。名詞、ナ形容詞は「台風でも」「大変でも」のように「～でも」となります。
- 「もし」「万が一」などの表現といっしょに使うことがあります。

［例］► 1 週間分の水と食料がありますから、断水しても、しばらくはだいじょうぶです。
Aunque se corte el agua, estaremos bien durante un tiempo, ya que hay agua y comida suficiente para una semana.

©The Japan Foundation

◆ Resumen de expresiones usadas para describir condiciones: ～たら y ～ても

条件を表す表現のまとめ：～たら、～ても

La expresión ～たら se usa cuando el enunciado parte de la premisa de que cierto evento haya tenido lugar. Se aplica a dos casos: ① cuando se parte de una suposición (condición hipotética) y ② cuando se parte de la certeza de que el evento ocurrirá (condición fijada).
La expresión ～ても indica que, a pesar de que suceda cierto evento, el siguiente evento del enunciado seguirá cumpliéndose.

「～たら」は、あることが起こったことを前提とした言い方です。①仮定して言う場合（仮定条件）と、②そのことがらが起こることがあらかじめ決まっている場合（確定条件）と、2 つの使い方があります。
「～ても」は、あることが起こっても、後ろの文のことがらが成立することを述べる言い方です。

～たら

①雨が降ったら、イベントは中止になります。（仮定条件）
Si llueve, el evento se cancelará. (condición hipotética)

②イベントが終わったら、パーティーがあります。（確定条件）
Cuando termine el evento, habrá una fiesta. (condición fijada)

～ても

雨が降っても、イベントは開催されます。（逆接の仮定条件）
Aunque llueva, el evento se celebrará. (condición concesiva)

❺ V（forma ordinaria 普通形）かどうか、～

店が開いているかどうか、わからないけど…。
No sé si las tiendas están abiertas.

- La expresión ～かどうか sirve para expresar si el sujeto está en cierta situación o no. La frase 店が開いているかどうか del ejemplo significa 'si las tiendas están abiertas o si están cerradas'.
- En la Lección 8 se ha estudiado la estructura "interrogativo+ ～か", por ejemplo, フリーマーケットは、何時からか、わかりますか？('¿Sabes a qué hora empieza el mercadillo?'). En esta lección se aborda la versión de esta estructura sin el uso de palabras interrogativas.
- Tal y como se muestra en los ejemplos inferiores, esta estructura se puede usar, por un lado, para indicar algo que se desconoce, usando わかりません('No sé'); o, por otro lado, para preguntarle a alguien si sabe algo, usando 知っていますか? ('¿Sabes?'). Asimismo, también sirve para hacer una solicitud, usando 教えてください ('Por favor, dime').

- 「～かどうか」は、そうなのかそうでないのか、を表します。例文の「店が開いているかどうか」は「お店が開いているか、開いていないか」という意味になります。
- 第 8 課では、「フリーマーケットは、何時からか、わかりますか?」のように、「疑問詞 + ～か」を使う形を勉強しました。この課では、疑問詞を使わない形を勉強します。
- 例文のように、「わかりません。」と自分が知らないことを述べる以外に、「知っていますか?」と相手にたずねたり、「教えてください。」のように依頼する場合にも使うことができます。

［例］► 今、スーパーに行っても、水が売ってるかどうか、わかりません。
No sé si venden agua en el supermercado ahora.

► 明日、給水車が来るかどうか、知っていますか？
¿Sabes si mañana vendrá el camión cisterna?

©The Japan Foundation

日本の生活 TIPS

自然災害とハザードマップ　Mapas de riesgo de catástrofe

En Japón a veces se producen catástrofes naturales, como tifones, terremotos, tsunamis y fuertes nevadas. Cada región puede sufrir distintos tipos de desastres. Se pueden consultar los mapas de riesgo elaborados por los gobiernos locales para saber qué catástrofes naturales pueden ocurrir en cada zona. Los mapas de riesgo predicen dónde pueden ocurrir las catástrofes naturales y su peligrosidad. También muestran las zonas y rutas de evacuación. Pueden conseguirse en las oficinas del gobierno local o descargarse de sus webs. Aparte, se puede consultar el portal web de mapas de riesgo del Ministerio de Territorio, Infraestructuras, Transportes y Turismo. Es conveniente comprobar qué catástrofes naturales pueden ocurrir en la zona en la que se vive y hay que saber cómo prepararse y cuáles son los lugares de evacuación en caso de desastre.

日本では、地域によっても異なりますが、台風、地震・津波、大雪などの自然災害が発生することがあります。それぞれの地域でどのような自然災害が起きやすいかは、地方自治体が作成している「ハザードマップ」で調べることができます。ハザードマップには、その地域で自然災害が起きた場合、どのエリアでどの程度の被害が生じるかを予想した地図と、避難場所や避難経路などが記されています。ハザードマップは役所などで配布されているほか、各自治体のサイトからもダウンロードできますし、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」でも調べることができます。日本に住む場合は、自分の住む地域でどんな災害が起こる可能性があるか、そのために、どんな準備をしておいたらいいか、災害が起きたときはどこへ避難したらいいかなど、確認しておきましょう。

非常持ち出し袋と防災グッズ　Bolsa de emergencia y artículos para usar en una catástrofe

Se recomienda reunir los artículos necesarios en caso de catástrofe y guardarlos en una bolsa de emergencia. Así se podrán llevar fácilmente cuando ocurra una evacuación en caso de catástrofe natural. Se debe guardar la bolsa en un lugar cómodo para que sea fácil de tomar en caso de evacuación, como la entrada de la casa. Como se menciona en el texto principal, una bolsa de emergencia debe contener suficiente agua y alimentos para varios días, medicamentos que se tomen regularmente, una linterna, un cargador de baterías portátil, una radio portátil, guantes, un botiquín de primeros auxilios, ropa de lluvia, dinero en efectivo y objetos de valor, así como el pasaporte y una copia de la tarjeta de seguro médico.

非常時に必要になる防災グッズは、災害が起きて避難するときにすぐに持ち出すことができるように「非常持ち出し袋」に入れて、玄関などの持ち出しやすいところに常に置いておくことが推奨されています。本文にあったように、非常持ち出し袋には、数日間はしのげる水と食べ物と、いつも飲んでいる薬、懐中電灯、モバイルバッテリー、携帯ラジオ、軍手、ファーストエイドキット、雨具、現金や貴重品、パスポートや保険証のコピーなどを入れておくといいでしょう。

©The Japan Foundation

● マグニチュードと震度(しんど) Magnitud e intensidad

En Japón la fuerza de un terremoto se describe en las noticias utilizando los conceptos de magnitud e intensidad. La magnitud es una escala que mide las dimensiones de un terremoto y se utiliza en todo el mundo. En cambio, la intensidad indica la fuerza de los temblores producidos por un terremoto en cada lugar. Un terremoto solo tiene una magnitud, pero tiene un rango de intensidades diferentes según ubicación. Las escalas de intensidad varían de unos países a otros. En Japón, la intensidad se calcula con un medidor de intensidad sísmica de acuerdo a una escala con diez niveles. Estos niveles se nombran con números del 0 a 7. Los niveles 5 y 6 se dividen en niveles inferiores y superiores. A continuación se muestra resumen de la escala de intensidad de Japón.

日本の報道では、地震の大きさは「マグニチュード」と「震度」で表されます。「マグニチュード」は、地震そのものの規模を表す値で、世界共通に用いられています。一方、「震度」は、それぞれの地点で、地震による揺れがどのぐらいの大きさだったかを表します。1回の地震につき、「マグニチュード」は1つですが、「震度」は場所によってさまざまな値になります。震度の表し方は国によって違いますが、日本では震度計で観測した結果を10段階（震度0～震度7で、震度5と6はそれぞれ弱と強に分かれる）で表します。震度の目安は以下の通りです。

＜Intensidad 震度(しんど)＞

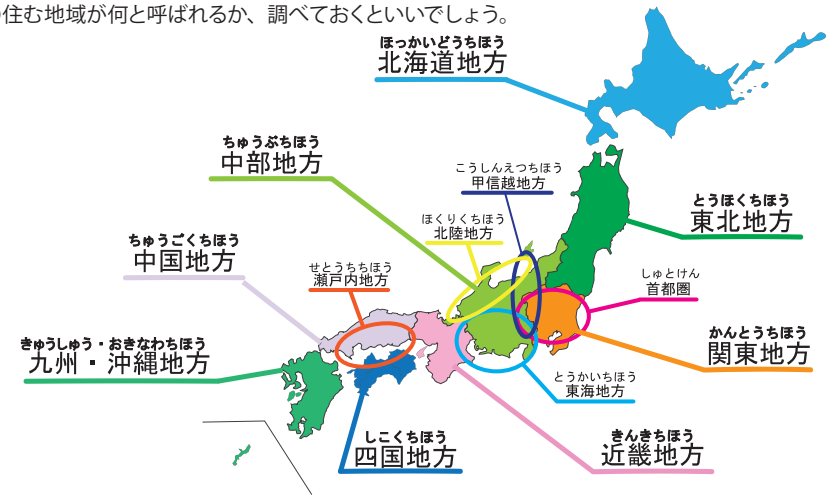
Nivel 0 震度(しんど) 0	El terremoto es percibido por los sismógrafos, pero la población no nota nada. 地震計には記録されますが、人は揺れを感じません。
Nivel 1 震度(しんど) 1	Es percibido por algunas personas que están en silencio en el interior de un edificio. 屋内で静かにしている人の中には、地震に気づく人がいます。
Nivel 2 震度(しんど) 2	La vibración es percibida por muchas personas en el interior de un edificio que está en silencio. 屋内で静かにしている人の多くが、揺れを感じます。
Nivel 3 震度(しんど) 3	El temblor es percibido por la mayoría de la gente y hace que muchos que están durmiendo se despierten. ほとんどの人が、揺れを感じます。寝ている人の多くが目を覚まします。
Nivel 4 震度(しんど) 4	El temblor produce sorpresa entre la mayoría de la gente. Los objetos colgantes, como las lámparas, pueden moverse violentamente y los objetos con un centro de gravedad alto pueden caerse. ほとんどの人が驚く揺れです。吊り下げられた電灯などは大きく揺れ、重心が高い置物が倒れることがあります。
Nivel inferior a 5 震度(しんど) 5 弱(じゃく)	La mayoría de la gente siente miedo. Es difícil caminar. Los libros pueden caerse de las estanterías. 大半の人が恐怖を感じます。歩くのが難しくなります。本棚の本が落ちることがあります。
Nivel superior a 5 震度(しんど) 5 強(きょう)	Los televisores se caen, la vajilla se precipita de las estanterías, las ventanas se rompen y se derrumban partes de las paredes. Puede haber apagones y verse interrumpido el suministro gas y agua. テレビや食器が落ちたり、窓ガラスが割れたり、ブロック塀が倒れたりします。停電したり、ガスや水道が使えなくなったりします。
Nivel inferior a 6 震度(しんど) 6 弱(じゃく)	Los temblores son tan fuertes que cuesta mantenerse en pie. Los muebles se mueven considerablemente y las paredes y ventanas sufren daños y se derrumban. Los edificios pueden inclinarse. 立っていることが難しくなる揺れです。家具が大きく動いたり、壁のタイルや窓ガラスが破損して落ちてきたりします。建物が傾くこともあります。
Nivel superior a 6 震度(しんど) 6 強(きょう)	Las personas tienen que arrastrarse para poder moverse y pueden ser lanzadas por el aire. Las paredes y columnas se agrietan y las casas se derrumban. El suelo se abre y pueden producirse corrimientos de tierra. 人は這わないと動くことができず、飛ばされることもあります。壁や柱にひびが入ったり、家が倒れたりします。地割れや山崩れが発生することがあります。
Nivel 7 震度(しんど) 7	El temblor es tan fuerte que hace saltar por el aire muebles como un televisor. Los edificios se tambalean y derrumban. Se interrumpen los suministros de electricidad, gas y agua. El terremoto destruye las vías férreas y las carreteras y las ciudades quedan paralizadas. Se producen grietas y desprendimientos de tierra a gran escala y el paisaje puede llegar a cambiar. テレビなどの家具がはねて飛ぶぐらいの揺れです。ビルが傾いたり倒れたりします。電気、ガス、水道は止まり、鉄道や道路は破壊され、都市機能が失われます。大きな地割れや山崩れが発生し、地形が変わることもあります。

©The Japan Foundation

日本の地方区分 División regional de Japón

La información sobre terremotos y tifones se divulga según una división por regiones. Por ello, conviene saber cómo se llama la región en la que se reside.

地震が起きたときの情報や、台風の進路などの情報には、日本の大まかな地方区分を表す「～地方」などの言い方が使われます。日本に住む場合には、自分の住む地域が何と呼ばれるか、調べておくといいでしょう。



防災訓練 Simulacro de catástrofe

Las empresas y las escuelas japonesas realizan regularmente simulacros de catástrofe. A veces, las asociaciones de vecinos, los grandes almacenes, los centros comerciales, los hoteles y los hospitales también organizan simulacros. Si estás en alguno de esos lugares cuando se realiza un simulacro, es posible que tengas que participar. Muchos lugares hacen simulacros en el Día de la prevención de catástrofes, celebrado el 1 de septiembre. Durante una estancia en Japón, es posible que debas realizar varios simulacros de catástrofes.

Los simulacros de catástrofes simulan lo que hay que hacer si se produce un terremoto, un incendio, etc. Te enseñan cuáles son los lugares de evauación, qué ruta de evacuación utilizar y cómo contar el número de personas. En ellos a veces se puede practicar cómo utilizar los extintores y las bocas de incendio, entrar en una sala de simulación de humo o experimentar una gran sacudida sísmica en un vehículo de simulación. También es posible aprender a prestar primeros auxilios y a utilizar un desfibrilador automático. Si los bomberos asisten al simulacro, pueden dar indicaciones sobre el simulacro y charlas sobre qué hacer en caso de terremoto o incendio.

Es importante participar en los simulacros para estar preparado ante las catástrofes que puedan ocurrir en la vida cotidiana. Algunos ayuntamientos reparten manuales sobre cómo actuar en una catástrofe o los publican en sus webs, así que conviene consultarlos detenidamente.

日本の会社や学校では、定期的に防災訓練が行われます。また、防災訓練は、町内会で行われることもありますし、デパートやショッピングセンター、ホテルや病院などにいるときに防災訓練が行われ、いっしょに参加することになる場合もあります。特に９月１日の「防災の日」には、いろいろな施設で訓練が行われます。日本にいたら、何回か防災訓練を体験することになるでしょう。

防災訓練では、地震や火事のときに、どのように行動すればいいか、どのルートでどこに避難すればいいか、人数の確認はどのように行うかなどをシミュレーションします。また消火器や消火栓の使い方を練習したり、煙の部屋を体験したり、起震車で大きな地震の揺れを体験したりすることもあります。救護活動や AED の使い方の訓練をする場合もあります。消防署の人が立ち会う訓練の場合には、消防署の人から、訓練の講評のほか、地震や火事のときどうすればいいか、説明や講義があることもあります。

訓練以外にも、普段から災害に備えておくことが大切です。災害時の対応について、マニュアルを配布したりサイトで公開したりしている自治体もありますので、できるだけ見ておくと安心です。

©The Japan Foundation